

生きる力を与える支援機器の開発と 制御技術の応用

Date: 13:30-14:30, Oct 20(Mon), 2014

Place: S5-306B

鈴木 亮一 先生

金沢工業大学 機械系
ロボティクス学科



高齢化社会の進展にともない、生活支援ロボット、介護支援ロボットのニーズが高まっている。本講演では、ユーザからのニーズに応える生活支援機器の設計開発に重要なことは何かということについて考える。現在、製品化されている支援機器は、支援を必要とする人々の機能を補完するものや、単に動作を代替する機器が多い。こうした支援機器は、常に人間と接している状態にあるため、使用者の動作意図や残存している能力を検知できることが望ましい。そこで、使用者の動作意図や残存能力を推定するためにはどのような制御技術が応用できるのか、その一手法を紹介する。また、このような制御技術を、上腕動作支援装置、立上がり動作支援装置、食事支援システムなどの機器開発に応用した事例を紹介する。